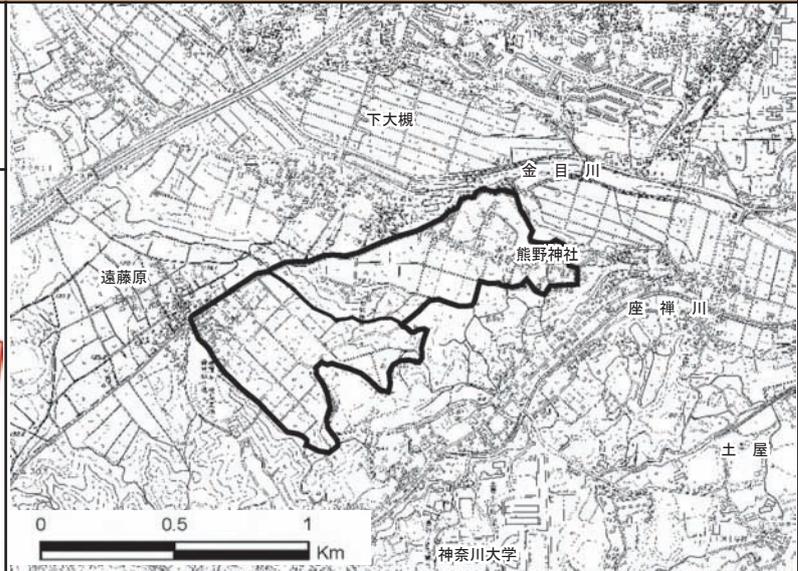
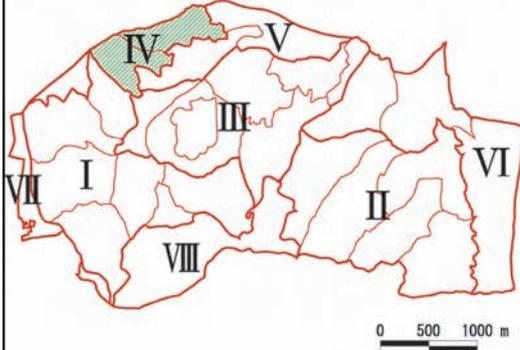


大地区Ⅳ 金目川段丘

【評価】

自然	場	緑の質	生物
C	A	D	D

【地区位置】



内 容

総 評

畑地として利用されている平坦面と段丘崖からなる。平坦面は、遠藤原台地の中核をなし、段丘崖に続く樹林は緑の中核となっている。
大部分が畑地であり、草地の指標種がおもに生息、生育している。里山の自然を縁取る環境となる。

場

畑地として利用されている平坦面は、地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。また、段丘崖には帯状の樹林が続き、緑の中核となっている。

緑の質

【植物群落】平坦部のほぼ大部分を畑地が占め、その中に果樹園、苗木畑がみられる。斜面上にはコナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床ササ密生型）が分布している。ほかに、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、アズマネザサ群落、水田、畑放棄植物群落がみられる。
【水系】無し。

生 物

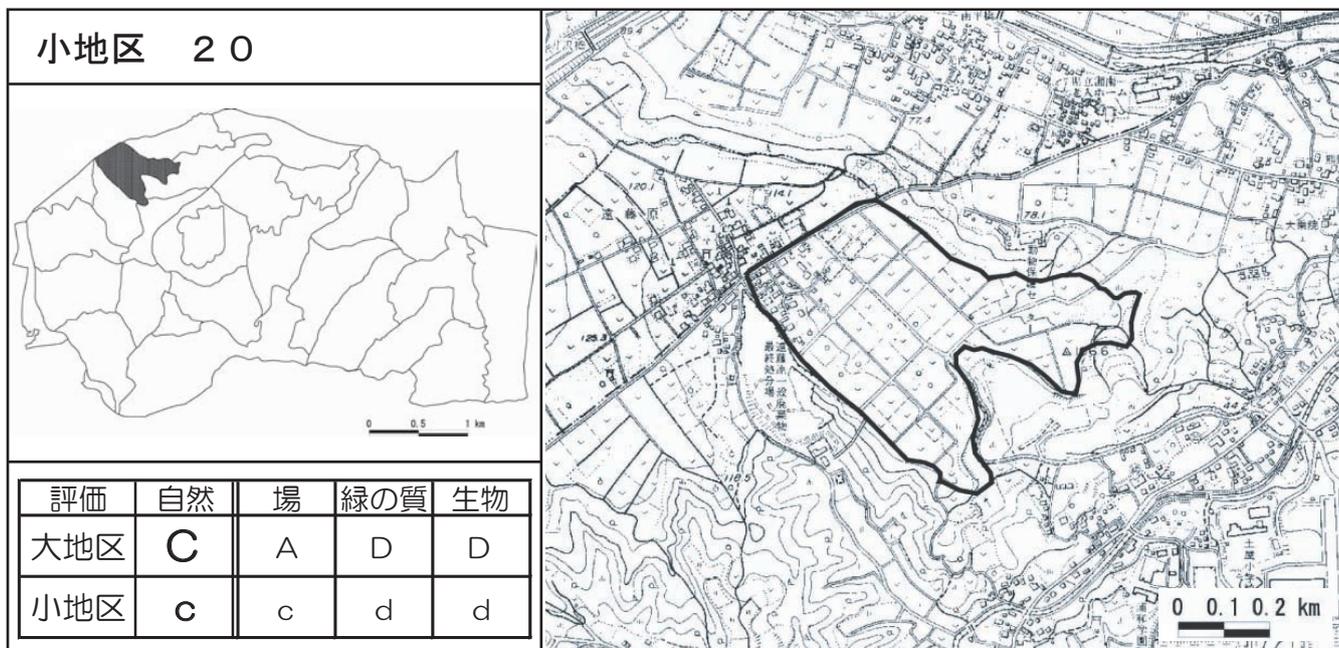
【植物】キンラン、ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ
【鳥類】ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、ヒバリ、キジ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ
【昆虫類】トビナナフシ、ゴイシジミ、オナガササキリ



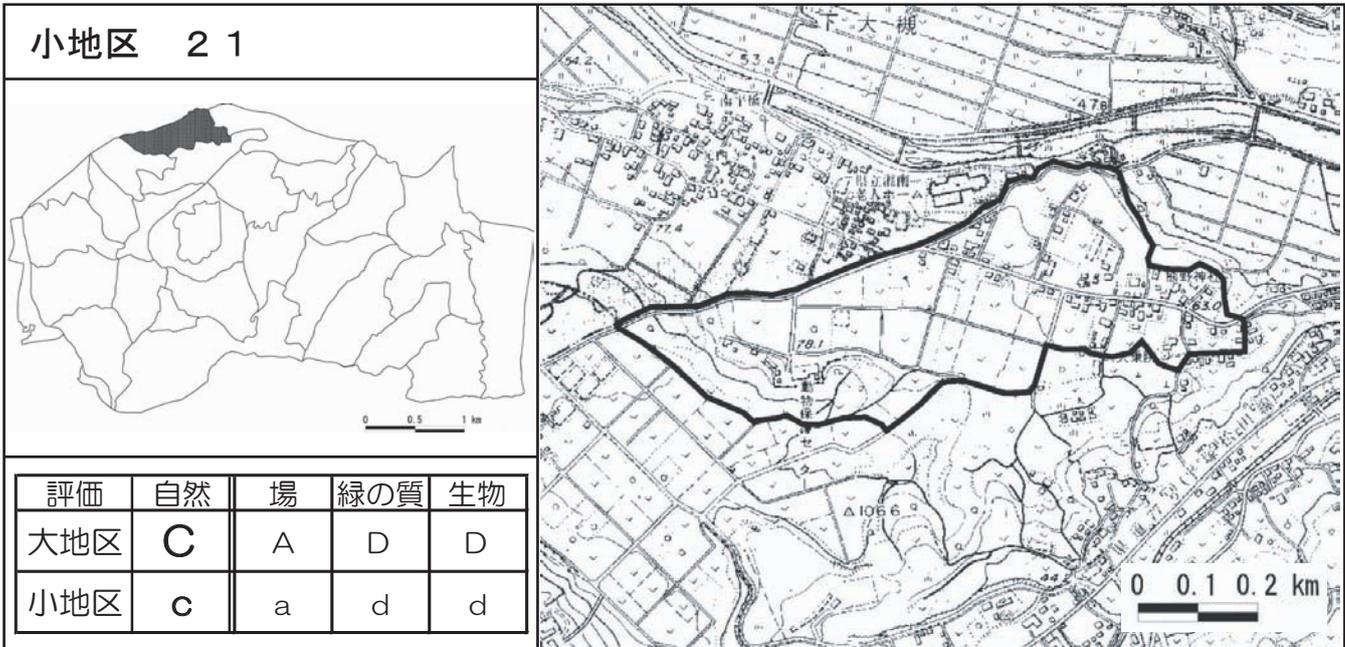
段丘面上の畑地 2004年4月22日撮影



段丘崖に帯状に続く樹林 2004年4月22日撮影



内 容	
総 評	<p>地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに、草地を好む指標種が生息、生育している。里山の自然を縁取る農地が広く存在する。</p>
場	<p>畑地として利用されている平坦面は、地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 畑地が大部分を占める。ほかに、果樹園、苗木畑、畑放棄植物群落がみられ、コナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、モウソウチク・マダケ林などもわずかに分布する。</p> <p>【水系】 無し。</p>
生 物	<p>【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、ヒバリ、キジ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ</p> <p>【昆虫類】 トビナナフシ、ゴイシシジミ、オナガササキリ</p>



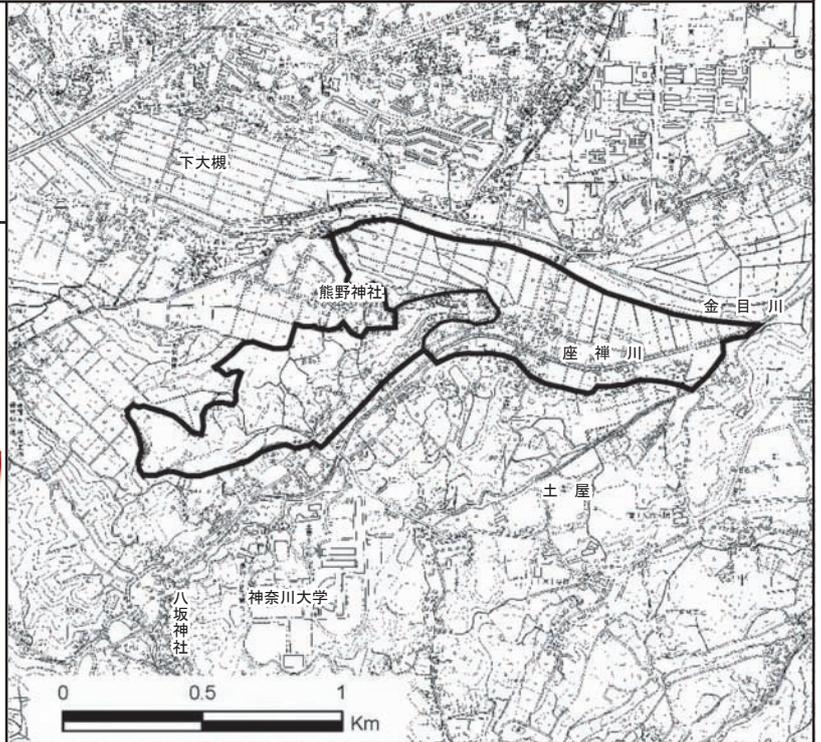
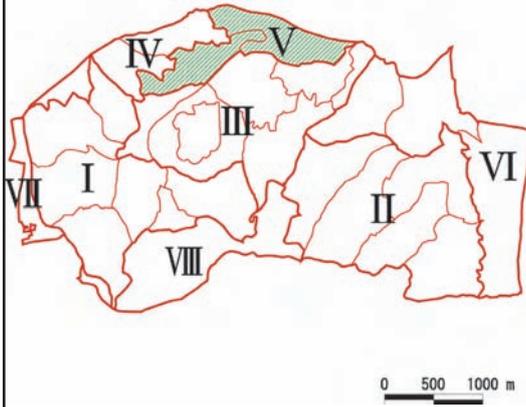
内 容	
総 評	<p>平坦面は遠藤原台地の中核をなす。段丘崖には帯状に樹林が続き、緑の中核となる。</p> <p>畑地が広がり樹林は少ないため、おもに、草地を好む指標種が生息、生育している。里山の自然を縁取る農地が広く存在する。</p>
場	<p>畑地利用されている平坦面は、地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなす。また、段丘崖には帯状の樹林が続き、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>畑地が大部分を占め、コナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床ササ密生型）が帯状に分布する。苗木畑、モウソウチク・マダケ林もわずかに分布する。</p> <p>【水系】</p> <p>無し。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、ヒバリ、キジ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ</p> <p>【昆虫類】</p> <p>オナガササキリ</p>

大地区Ⅴ 金目川低地

【評価】

自然	場	緑の質	生物
B	B	C	B

【地区位置】



金目川沿いの水田 2004年10月6日撮影



座禅川と金目川の合流点 2004年10月6日撮影

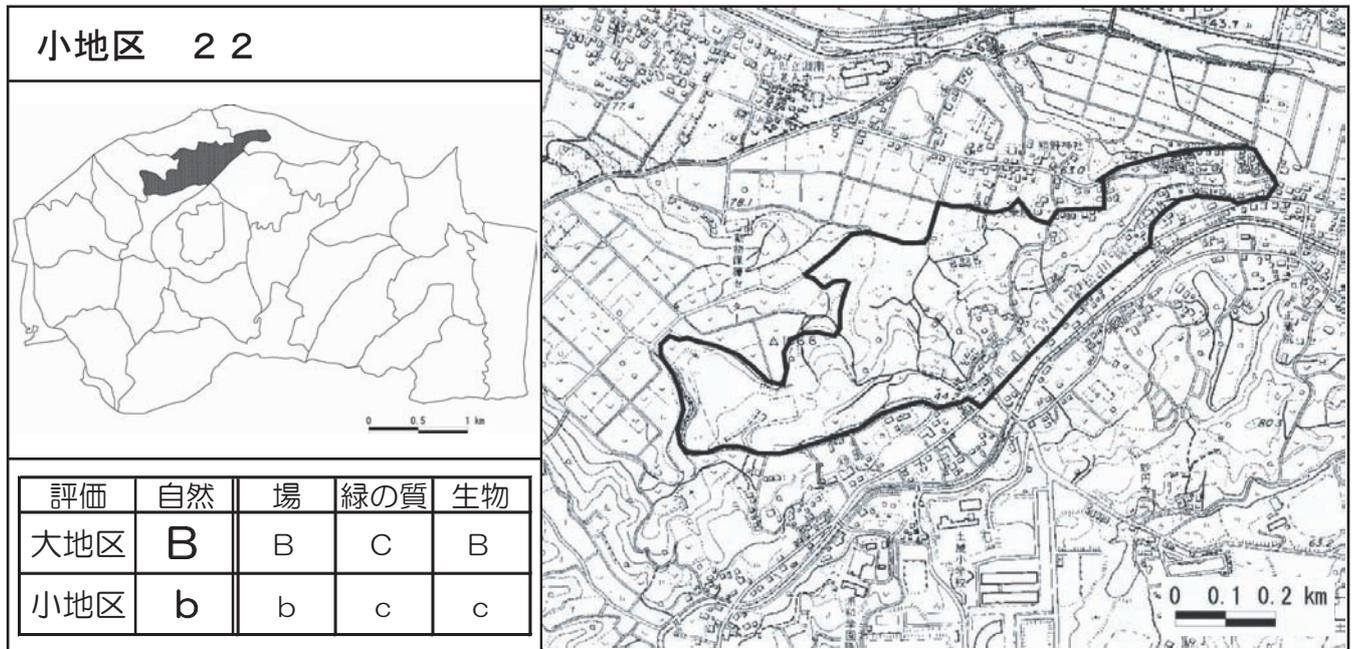


斜面に続く樹林 2004年4月22日撮影



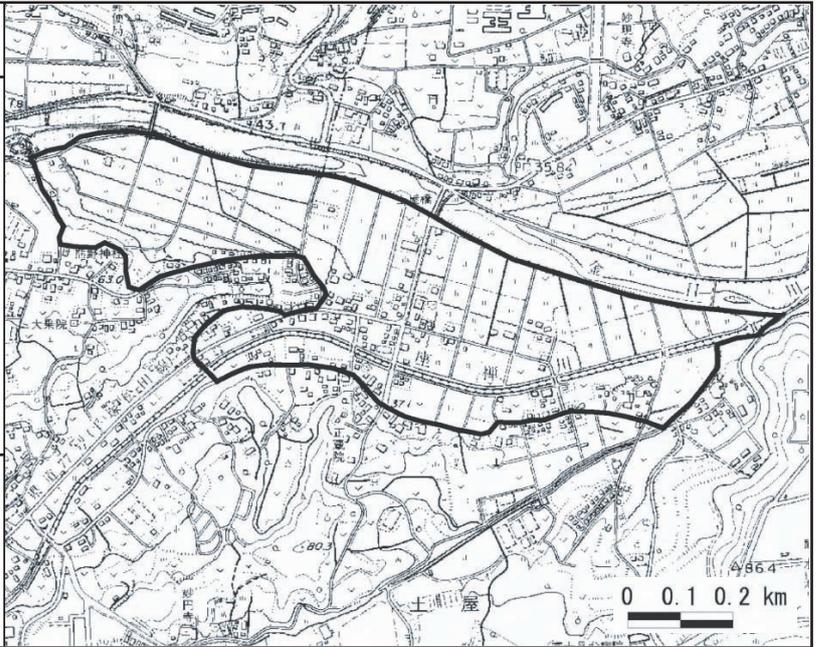
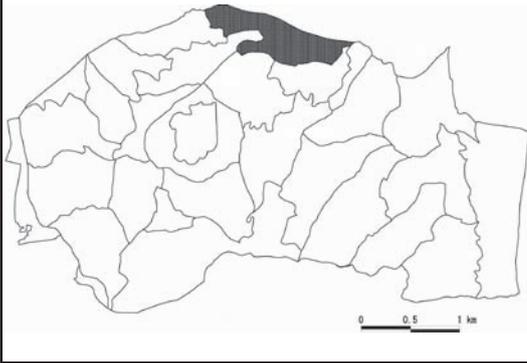
低地の水田と樹林 2004年9月1日撮影

	内 容
総 評	<p>金目川沿いの低地とそれに面する斜面からなる地区である。低地はおもに畑地と水田が広がり、斜面には二次林が分布している。</p> <p>樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育しており、地域ではまれな河川沿いの生態系を形づくっている。</p>
場	<p>広大な低地が金目川に沿って広がっている。低地に面した斜面にはまとまりのある樹林が分布している。段丘崖には帯状に樹林が続き、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>平坦地に畑地と水田が多くみられる。緩やかな斜面上には、コナラ群落（林床開放型）、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、モウソウチク・マダケ林がみられる。</p> <p>ほかに、陽性低木群落、アズマネザサ群落、ススキ群落、伐採跡地、ヨシ群落、果樹園、苗木畑、畑放棄植物群落がみられる。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに、水際のみ護岸された河川が存在するが、水田の中をU字溝が碁盤の目のように整備されている。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、ヤブツバキ、マンリョウ、ケキツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>アオゲラ、イカル、コゲラ、エナガ、メジロ、ヒバリ、キジ、カワセミ、ハクセキレイ、オオタカ</p> <p>【両生類】</p> <p>シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>ハイケボタル、トビナナフシ、ゴイシシジミ、ハグロトンボ、オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】</p> <p>アブラハヤ、シマドジョウ、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ、ドジョウ</p>



内 容	
総 評	丘陵斜面の樹林がまとまりのある緑を形成している。斜面には、二次林が帯状に続き、それを畑地が囲んでいる。低地の水田には、わずかながら素掘り水路もある。樹林、水辺、草地の指標種が生息、生育しており、比較的良好な里山の自然が残されている。
場	丘陵斜面の樹林がまとまりのある緑を形成している。
緑の質	<p>【植物群落】</p> コナラ群落（林床ササ密生型）、コナラ群落（林床開放型）、スギ植林が斜面上に分布し、平坦地にはおもに畑地が分布する。ほかに、モウソウチク・マダケ林、アズマネザサ群落、伐採跡地などが分布している。
生 物	<p>【水系】</p> おもに、U字溝が存在するが、一部が素掘り水路になっている。
	<p>【植物】</p> キンラン、ヤブツバキ、マンリョウ、ケキツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ
	<p>【鳥類】</p> アオゲラ、エナガ、メジロ、キジ、オオタカ
	<p>【両生類】</p> シュレーゲルアオガエル
	<p>【昆虫類】</p> トビナナフシ、オナガササキリ
	<p>【魚類】</p> ドジョウ

小地区 23



評価	自然	場	緑の質	生物
大地区	B	B	C	B
小地区	b	a	c	c

内 容	
総 評	<p>低地が金目川に沿って広がっている。地区辺縁にある段丘崖には、帯状に樹林が続き、地域の緑の中核となる。おもに畑地と水田からなり、水辺、草地の指標種が生息、生育している。西部丘陵地域ではまれな、河川を中心とする生態系の一翼を担う。</p>
場	<p>広大な低地が金目川に沿って広がっている。地区辺縁にある段丘崖には、帯状に樹林が続き、地域の緑の中核となっている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 畑地と水田が大部分を占める。ほかに、コナラ群落（林床ササ密生型）、モウソウチク・マダケ林、ススキ群落が分布する。水田の一面には、ヨシ群落もみられる。</p> <p>【水系】 おもに、水際のみ護岸された河川がみられる。また、水田の間をU字溝が碁盤の目のように整備されている。</p>
生 物	<p>【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 アオゲラ、イカル、コゲラ、メジロ、ヒバリ、カワセミ、ハクセキレイ</p> <p>【両生類】 シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】 ヘイケボタル、ゴイシシジミ、ハグロトンボ、オニヤンマ</p> <p>【魚類】 アブラハヤ、シマドジョウ、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ、ドジョウ</p>